

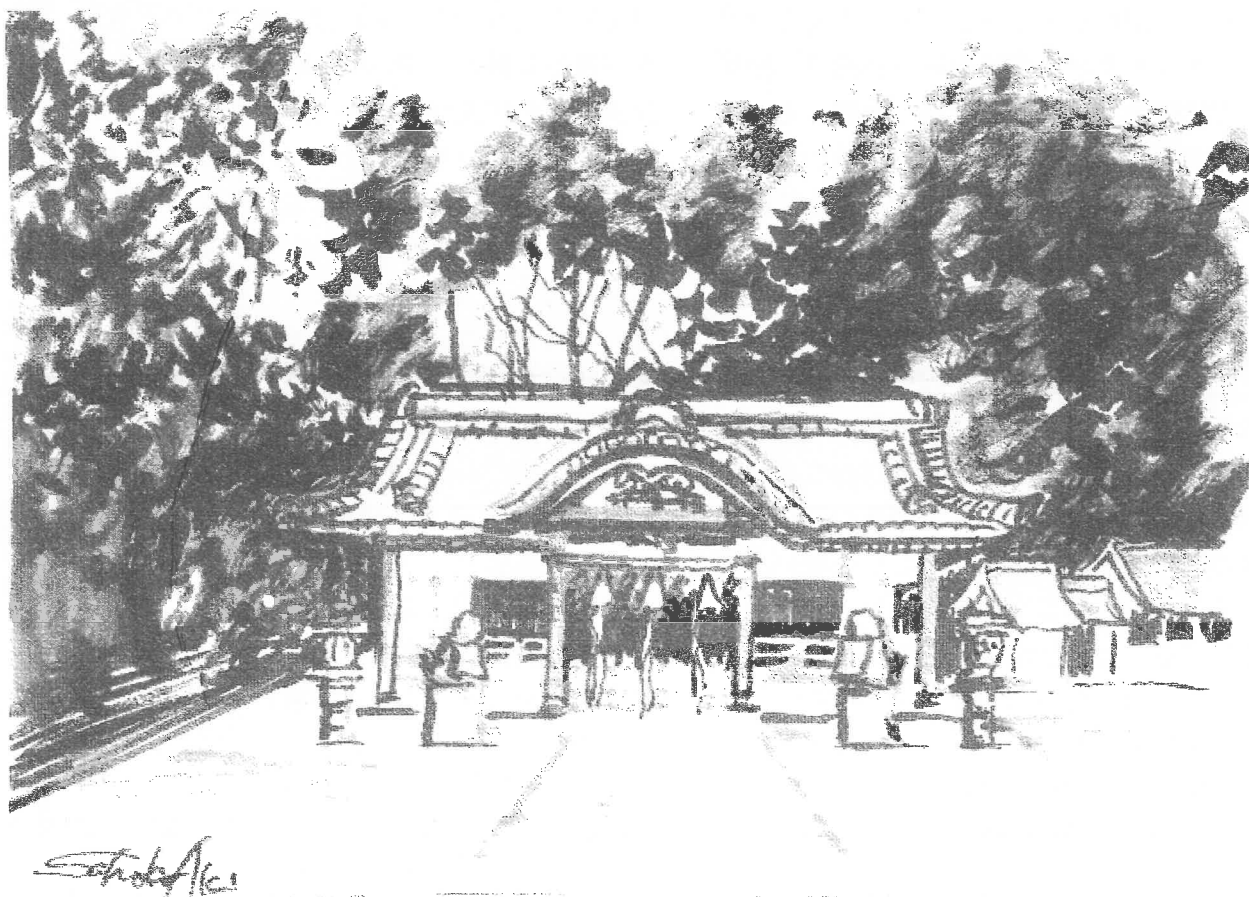
身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する

NPO 法人すいた市民環境会議

2008年8月 第58号

# 吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日  
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会  
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



## 目次

1. 表紙
2. 会長コラム 表紙の大木説明
3. 総会報告
4. 吹田市環境部との意見交換会
5. 環境教育フェア、アジェンダ総会ほか
6. エコクッキング・みどりのカーテン
7. 暮らしのダイエット
8. 大木調査
9. 北千里の彫刻を訪ねて
10. 散策会案内 ほか

## コラム 春夏秋冬

会長 小田忠文

私はここ10年以上、中の島公園を抜け、“水鳥の道”と名づけられた神崎川の河川敷を散歩している。この河川敷は大阪府が管理している。財政難で草刈りの予算がつかなくなったのだろうか、2月以後まったく草刈りがおこなわれなかった。▲7月初旬に河川敷で、例年ならお盆過ぎに鳴き始めるコオロギの声にまじって、過去10年間この場所でめったに聞くことがなかったキリギリスの鳴き声があった。キリギリスは草原を好む昆虫で、数年前までは阪急山田駅西側にあった空き地の草むらでたくさん鳴いていたことがなつかしい。最近では阪急電車の線路沿いの草むらで聞けるくらいで、市内のほとんどの場所からキリギリスの声が消えた。ところが神崎川の河川敷を4ヶ月草刈りしなかっただけでキリギリスをはじめ多くの昆虫が戻ってきたのだ。▲それとは対照的に河川敷に隣接した中の島公園では定期的に徹底した草刈りがおこなわれている。そこではセミの声はするが、草原の昆虫の姿や音色がまったく感じられない。▲私は子どものころ多くの昆虫を取っては何匹も殺して遊んだ経験がある。そのようにして「虫けらとはいえ“いのち”があり、その“死”とはどんなものか」ということを無意識のうちに体験し学んできたのだと思う。しかし現

代の子どもは自然の中で昆虫に触れる機会は極めて少なくなってしまう。「誰でもよかった」と平然と人を殺すような人間が増えてきたことと無関係とは思えない。店で買ってくる“いのち”もいけれど、自然にいる虫や小魚の“いのち”を体験できる機会が増えることが必要な時代だと思う。▲私の知る範囲では垂水上池(たるみうわいけ)公園や千里北公園には草むらと呼べる場所が作られているが、市内の多くの公園は定期的に徹底的に草刈りされてしまっている。草原とまでは言わなくとも、少なくとも公園内の一面に防犯上安全な草むらがあれば、多くの子どもたちが昆虫に触れ、遊ぶ機会が増えるだろう。昆虫を求めて鳥が来るかもしれない。公園内のごく一部だけ草刈りをしなければ、明日からでも作れる場所だ。緑化公園室はもちろん環境部も含めて地域住民とともに多様な生物と共存できる公園づくりを考えていただけるといいなと思う。▲ところで、神崎川の河川敷で伸び放題に伸びていた草は吹田まつりを前にして、その三日前に完璧に刈られてしまった。その二日後にはキリギリスの声が聞こえなくなった。しかし大阪府の財政を思うと、たぶん来年1月におこなわれる吹田市の消防出初式直前までは草刈りはしないだろうから、神崎川の河川敷で今年の秋から冬にかけて虫の音を存分に聞くことができるだろうと、今から楽しみにしている。

### <表紙の絵>

吹田の大木シリーズ (10)

### ありし日の吉志部神社の本殿と鎮守の森

5月23日未明、吉志部神社の本殿が全焼しました。紫金山公園の象徴として、地域の守り神として、多くの方々に親しまれてきた本殿、そしてシイノキの大木2本を中心とする鎮守の森を失ったことは非常に残念で言葉ありません。

一日も早い本殿の再建と鎮守の森再生を願って、ありし日(08年1月6日)の吉志部神社を表紙絵として残すこととしました。

(表紙画：安芸早穂子 文：平 軍二)

大木シリーズは本号(第10回)で完了とし、次号からは別テーマとする予定です。

# 第9回 通常総会報告

会報委員会 古谷啓伸 松岡要三

6月22日の日曜日、男女共同参画センターで総会が開催されました。会員30名が出席、下記の式次第に従って審議が進められ、1号から5号までの議案が承認されました。総会資料に不手際があり、「議案の間違いさがし」の雰囲気もありましたが、世間一般のNPO総会とはいささか趣の異なった総会は間違いを訂正しつつ楽しく無事終了しました。

今回は役員の新改選年ですが、理事・監事の見直し・増員が提案され新しい理事・監事が選出されました。

新理事：香月利明（監事を辞任して理事に）

富 淑子

新監事：山本富雄（元理事）

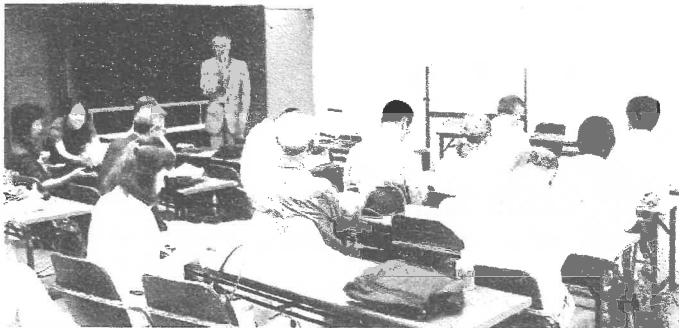
任期は次回総会開催日までで、他の理事・監事には変更ありません。

第2部では2007年におこなわれた「大木調査の裏話」が、生きもの委員会の平 軍二よりパワーポイントを使って披露されました。

総会終了後、近くの居酒屋で懇親会が開かれ、参加者全員の自己紹介で親睦が図られました。

## 議 案

- |      |             |
|------|-------------|
| 1号議案 | 2007年度事業報告  |
| 2号議案 | 2007年度収支報告  |
| 3号議案 | 2008年度事業計画案 |
| 4号議案 | 2008年度予算案   |
| 5号議案 | 理事・監事選出     |



総会2部で説明する平 軍二



懇親会の風景

☆2008年度の役員は新理事・新監事を加え下記の通りです。本年度も宜しく。

理事：小田忠文（会長）、喜田久美子（副会長）、高島耕一郎（副会長）、中村小夜子（事務局長）、安達直樹、小田信子、香月利明、具志堅葉子、塩田敏治、田中隆三、富 淑子、平 軍二、古谷啓伸、松岡要三

監事：彦坂利久、山本富雄

☆新理事の富 淑子より就任しての抱負をいただきました。宜しくお願いします。

大木調査から当会に参加しています。自然環境に興味があり、生きもの委員会と生活環境委員会に所属し、皆様に御指導をしていただいています。吹田の自然を理解し、守っていく事が出来る活動をしたいと思っています。

☆総会初参加の会員より下記メールをいただきました。ご紹介します。

本日の総会、お疲れサマでした。事務処理に若干のミスがおありだったようですが、和気藹藹としたとてもいい雰囲気での議事進行で素晴らしく、良かったと思います。

神戸のいわゆるサカキバラ少年事件を契機に環境ホルモンの怖さが指摘され環境に関心を寄せるようになりました。ところが、小生は脳出血の後遺症にて行動が制約され、なかなか具体的な行動に踏み出せずにおりました。

洞爺湖サミットの議長国であるというのに日本政府は中長期的な具体施策をなにも示せておらず国民一人ひとりの行動こそが必要と考え、いささかでもお役にたてたらと見学がてら今日の総会に参加させてもらいました。今後とも環境につき教えていただきたく宜しくお願い申し上げます。

# 吹田市環境部との意見交換会

会長 小田 忠文

7月4日、すいた市民環境会議（以下、当会）の理事および監事が吹田市環境部長をはじめ4人の環境部幹部と意見交換会をしました。意見交換会に先立ち次ぎの5点のテーマを提出していました。

- (1) 環境基本計画の見直しの進捗について。
- (2) 環境基本計画に基づく環境配慮指針をつくる  
ときの市民参画の方法について。
- (3) 環境審議会議の議事録公開について。
- (4) 市内の環境団体をはじめ他分野の市民活動  
団体との協働について。
- (5) 千里緑地のあり方について。

まずこれら(1)から(3)について環境部からお話をいただきました。それらを題材に今後の吹田市環境行政の方向について意見交換会が始まりました。

環境基本計画は作成されてから10年経過し、昨年7月市報で市民からの意見を集めました。当会は昨年7月末に「吹田市環境基本計画素案に対する当会の意見」を提出しました。（本文は吹田の郷第53号07年9月とホームページに掲載しています。）

<http://www3.big.or.jp/%7Esskk/jimu/kkkkiken.pdf>  
その中で①市内の緑比率のデータが15年前のままであり古すぎる。②この10年で環境保全をめぐる市民活動は盛んになってきている視点および財政的裏づけが欠落している。③環境基本計画に「作る」と明記されている環境配慮指針が10年間作られなかった。④自然環境データを蓄積するという概念が含まれていない。⑤環境基本計画を作るにあたって「条例に基づく説明会が必要」という吹田市環境基本条例第8条第3項の履行が不透明、などの点を指摘しました。

しかし意見を提出して1年近くになりますが、その意見に対する環境部からの反応が皆無なのです。「市民に意見を求め、その意見を採用するのかしないのか、さらにその理由を伝えることは市民と行政の間というより、人間どうしの付き合いでは常識と思える」という点を話し、

環境配慮指針の作り方を含め今後の改善を期待することにしました。

数年前から環境部には「環境審議会の議事録を公開してほしい」と（文書で要望するほどの内容ではないので）口頭で申し入れしてきました。情報公開室まで行けば見られますが今日なおホームページで見ることはできません。行政の情報は請求されて公開するのではなく、進んで公開していただきたいものです。この点については早急に改善するという回答を得ました。

「環境団体をはじめ他分野の市民活動団体との協働について」は、地球温暖化対策は単に「環境団体を取り組めばいい」というものではなく自治会をはじめ市内のあらゆる団体・組織が音頭をとって市民全体の日常行動とすることが求

められているのでテーマとした次第です。この点については今後取り組



当会理事・監事と環境部幹部

むべき課題となりました。

「千里緑地のあり方について」とは特にヒメボタルの生息する千里第4緑地は市内で残された貴重な緑地ですが、そこでは竹が繁茂し建設当初の青写真にある里山とはかけ離れつつあります。整備の基本方針がないまま今日を迎えているので、多くの善意の人々が個々の主観で竹の整備や、園芸植物の植栽などを始めています。緑地の整備は緑化公園室の担当ですが環境部が「緑地の理念・あり方」を示して、同じ方向を向いた整備を市民とともに進めることが望まれることを提案しました。この件は早急に取り組んでいただける雰囲気を感じました。

このほか吹田市が環境モデル都市の募集にエントリーしたことについても意見交換しました。

環境部長をはじめ環境部幹部の方々との意見交換したのは10年ぶりのことです。環境基本計画ができましたら毎年その計画の進捗状況を市民とともに見守るシステムが必要だとも思いました。熱い夜でした。

# すいた環境教育フェア参加報告

理事 田中隆三 (すいた環境教育フェア実行委員会)

6月21日(土)メインシアターにおいて「すいた環境教育フェア」が開催されました。環境関連14ブース、パネル展示12団体、事例発表9例と様々な視点から環境問題を捉え、関心・行動への訴えをしました。

当すいた市民環境会議からは「すいたの古木・大木」のテーマで小田会長が事例発表をしました。そこでは、古木・大木の調査結果を報告するに加え、これらの樹木に関心を持つと同時に保護を訴えました。特に民有地の残る大木が危機に瀕していること、外来種が多く、吹田市の原風景を醸し出していた樹木が少なく、せめて現在ある樹木を大切に見守っていきたくと訴えました。

展示パネルでも、古木・大木調査結果をまとめたMAPを中心に掲示して、訪れた児童と市民の方に実態を説明すると同時に、関心を持ってもらうように努めました。展示を見ながら子どもの頃



当会のパネルの前で説明する安達理事(後方)遊んだ大木の思い出を語ってくださる年配の方々がたくさんいました。

環境教育フェアも第7回目を迎えた今回は、地球温暖化問題への世論の高まりに伴って、子どもたちは勿論、おとなの皆さんの関心の高さを肌で感じることができました。

# アジェンダ21すいた 総会報告

理事 小田信子 (アジェンダ21すいた 副会長)

7月5日、「アジェンダ21すいた」の定時総会が開催されました。場所は関西大学の凜風館。アジェンダ21すいたは行政・企業・市民の三者が共に環境問題に取り組む組織です。吹田市内の大学も加入しています。すいた市民環境会議も団体と

して加入し幹事を出しています。大勢の会員が参加し活発な質疑がかわされ終了しました。

終了後の懇親会もなごやかな雰囲気の中で進みました。総会、懇親会を通して「地球温暖化防止にどのように関わり、アジェンダ21は何をすべきか」などを皆さんが真剣に考えていることがうかがえました。今年の総会では講演会があり、当すいた市民環境会議の理事平軍二さんがたくさんの方々のスライドを駆使して「大木調査から見えたこと」の話をされました。



←挨拶をされるアジェンダ21すいた会長  
大阪学院大・三輪教授(当会顧問)

# ピアノ池 ヒメガマ刈取り大作戦



生きもの委員会 香月利明  
猛烈な暑さの7月12日(土)  
当会の会員も多数参加して行われました。7回目の今年は、有り余る千里の竹を活用して、各工程の運搬作業の省力化を計りました。例年同様、カヌーや作業舟も出動。現代美術を愉しもう塾生は刈り取ったヒメガマを活用とか。

# エコクッキング 参加者募集

みどりのカーテンで育ったゴーヤを利用してエコクッキングをします。

環境会議のエコクッキングは食材選びから、廃棄までがエコなのです。

ゴーヤの食べ方、メニューはいろいろ。チャンプルだけではない！

ゴーヤが沢山取れすぎて困っている方、「ゴーヤでエコ？」と思っている方、是非ご参加ください。

## 環境会議主催

日時： 8月30日(土) 10時～13時

場所： 内本町コミュニティセンター  
(2F調理実習室)

費用： 材料費 500円

定員： 12名

持ち物：エプロン、三角巾、タオル、ふきん

申込み期間：8月5日～18日

申込み先：06-6319-0630(小田)

06-6330-0305(喜田)

## 東佐井寺地区公民館主催

日時： 8月7日(木) 10時～13時

場所： 東佐井寺地区公民館

問い合わせ先：06-6330-4063

## 東山田地区公民館主催(予定)

日時： 9月8日(月) 10時～13時

場所： 東山田地区公民館

問い合わせ先：06-6876-9901



## 育っていますか？ みどりのカーテン

### —ゴーヤの陰は平均 3.7℃涼しい—

地球温暖化防止、ヒートアイランド対策として「みどりのカーテン」を家庭で実施しませんか、と呼びかけて、昨年から取組を始めています。

昨年環境会議の取組結果をまとめると、みどりのカーテンの陰は日向より平均 3.7℃涼しくなっています。大阪府の実験でも、ヒートアイランド防止、省エネに効果が出ていることが実証されています。

マンションの多い吹田市、そのマンションの一部分でもみどりのカーテンで覆うことで見た目美しく、地球温暖化防止、ヒートアイランド対策にもなります。それがゴーヤなら、実を収穫して食べることができます。

左の写真のように、プランターでも育てられます。黄色い小さな花が毎日沢山咲きます。プランターの場合は、水やりと肥料切れに気を付けましょう。

ゴーヤの効能：ビタミンCが多い(キュウリの約5倍)、しかも熱で壊れにくい。血糖値を下げる効果がある。

みどりのカーテンガイドブックができました  
当会のメンバーが協力、アジェンダ21すいたが作りました。吹田市役所地球環境課で配布しています。

みなさん、  
熱心ですなあ

## 2008年度のみどりのカーテン講座(当会協力)

月日	場所	主催者
4/20	メイシアター	アジェンダ21すいた
5/25	東山田公民館	東山田公民館
6/7	東佐井寺公民館	東佐井寺公民館
6/21	メイシアター	環境教育フェア実行委員会
6/24	西山田集会所	西山田花の会とすいた市民環境会議共催



アジェンダ21すいたによるみどりのカーテンの説明会  
(環境教育フェアの会場にて)

# 今年も続けます「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」

—あなたも参加していますか あなたのCO<sub>2</sub>を減らしましょう—

ガソリンをはじめとした諸物価が値上がりしています。  
その中で小麦も値上がりをしています。小麦が値上がりしている理由を知っていますか？  
小麦の輸出国オーストラリアで、干ばつが2年続きました。  
小麦がとれなかったため小麦が値上がりしています。

IPCC 第4次報告で地球温暖化が加速していることが確認されました。  
穀物をはじめ食料生産に影響が出ると報告されています。  
私達の孫の時代には日本でも飢餓が現実になるかも知れません。  
マラリアやデング熱といった、蚊が媒介する恐ろしい病気が蔓延する可能性が近づいています。

あしたのエコでは遅い。世界が動き始めています。

**あなたはどんなアクションを起こしていますか？**

あなたのアクションの基礎となるもの、それはあなた自身のライフスタイルです。この「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」はライフスタイルをチェックし、エネルギー使用量を数値で把握する環境家計簿吹田版です。どなたでも簡単に楽しく取り組みます。継続は力〜昨年取り組んだ方は引き続きやってみましょう。初めての方はぜひチャレンジを！

- ☆期間は8月～12月 日々エコな取り組みを実行します。
- ☆電気・ガスの「使用量のお知らせ」から転記します。
- ☆記入していただくだけでエコ意識が芽生え始めます。
- ☆きつと使用量が減っているはず 料金も減っているはず ちょっとお得です！
- ☆無理はしないで無駄をなくす！ でも、ちょっと辛抱してもいいかも。
- ☆気軽に気長に！ これもアジェンダ21エネルギー部会と協働で取り組みます。

同封のチラシで



**アジェンダ21すいたの事務局、市役所地球環境課に申し込んでください**

「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」のノートを同封してきましたが、今回から申込みのチラシだけを同封します。是非直接申し込んで、結果を送ってください。みなさんの数値がデータとして生きてきます。「エコプレス」は今まで通り皆さまに同封します。



2008年6月26日「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」説明会

## 2007年8～12月の取組結果

データ提出者 194名(参加者 293名)  
全員で減らしたCO<sub>2</sub>は1788.5kg。

杉が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>に換算すると約128本分になります。

自家用車を利用している家庭では、排出しているCO<sub>2</sub>の約40%がガソリンでした。

# 吹田の古木・大木冊子編集開始

生きもの委員会 平(ひら)軍二

## 1. 大木冊子編集開始

大木マップ完成の余韻から覚め、ようやく冊子編集作業を開始しました。当初目標の6月完成からは大幅に遅れていますが、週1回のペースで打ち合わせを重ね、12月完成に向け努力中です。

冊子の内容については、好評であった97年報告書の形式を踏襲する予定です。

- ①大木観察散策ルートマップ(全員で作成)
- ②大木樹種図鑑(塩田担当)
- ③大木所在地一覧表(平担当)
- ④大木にまつわるエピソードほか(全員)

## 2. 吉志部神社本殿と鎮守の森

5月23日早朝、吉志部神社本殿の焼失という痛ましい事件が発生しました。重要文化財に指定され吹田市で一番古い建造物が灰燼に帰したことは、非常に残念なことです。再建が決まったようですので、一日も早くもとの姿をと願っています。



焼けた吉志部神社本殿

神社本殿とともに背後に広がる鎮守の森も類焼しました。紫金山公園のほとんどは、昭和30年代まで村人たちが木を切って薪炭に利用していた里山で、コナラ・アベマキの林床にコバノミツバツツジが咲く落葉樹林でした。しかし、本殿の周囲のみはシイノキ中心の常緑樹林、いわゆる鎮守の森で、吹田市内で唯一の極相林でした。鎮守の森として木を切らない聖地とされていたため、当初は落葉樹林であった所が徐々に変遷し、最終的に極相林のシイノキ林に到達していたと推定されます。極相林に到達するまで数百年かかる筈なので、吉志部神社本殿周囲の林は1610年に建立された本殿同様、長い年月が育てた林でした。

鎮守の森が、吉志部神社本殿と一体となり、神聖な空間を生み出していたことを残しておきたいと思い、今月の表紙絵は「ありし日の吉志部神社と鎮守の森」と題し、今年1月の情景を安芸早穂子さんに描いていただきました。

この鎮守の森、本殿背後にシイノキ2本、本殿向かって左側にクスノキが1本と、大木にリストアップした3本の木がありましたが、本殿焼失時に高温の放射熱にさらされ、今は木の幹のみが残っています。燃えたシイノキの幹が「息を吹き返し、新葉がでてほしい」と見守っているところです。

## 3. 関西大学構内で第1回大木観察会

第1回観察会を7月5日(木)に関西大学構内で実施し、大木87本のうちの約20本をゆっくり観察、関大が大木を大事にしている状況を確認しました。

関西大学には、幹周り3m以上の大木が13本ありますが、中でも9本立ちクスノキは、97年調査時点で、吹田市最大の木としたことから人気の木です。この9本立ちクスノキの樹齢がどれ程か、97年調査時に関西大学年史編纂室の協力を得て、航空写真や構内写真で確認、

- ・1935年～1950年の間に植えられた
- ・樹齢20～30年の木が植栽された

として、その時点で樹齢70～90年、現時点では最大100年と推定しています。

最近、関西大学学生センター発刊の広報紙「ぴあかんず」2号(08/7/1付)に、この9本立ちクスノキは樹齢190年と記述されています。関大の千里山校舎のスタートが1922年(85年)なので、若干疑義があります。

## 4. 第2回大木観察会は万博公園で

「大木探しマップ」のコース作りに反映させるための観察会を万博公園で行います。残暑が厳しいので熱中症対策を十分にして参加ください。

日時：9月15日(月・祝) 9:30～12:00(頃)  
集合：万博公園自然文化園中央口(大阪モノレール万博記念公園駅下車、太陽の塔前)  
参加費：300円(他に万博入園料250円が必要)  
問い合わせ：090-6901-1425 平(ひら)軍二



# 北千里の彫刻を訪ねて

まちなみ委員 松岡要三

千里ニュータウン誕生から40年が経ち、今では北千里の公園は樹木が育ち緑豊かな公園となっていますがニュータウン開発初期は緑も少なく、荒涼とした風景でした。

そのような1967年、大阪万博のアピールのため、第1回千里野外彫刻展が千里南公園で開催され、終了後、参加作品20数点がニュータウンの公園に配置されました。(☆印)

また1970年にはニュータウン開発骨子完成記念に千里北公園の「風の道」(新宮晋 作)、北千里駅前広場の「集(つどい)」(植木茂 作)など5点の彫刻が設置されました。(★印)

これらの作品などを訪ねて、現代美術を愉しもう塾と共催で、6月4日、藤白公園～千里北公園～青山公園を散策しました。散策会で出会った彫刻などを紹介します。

## 1. 藤白公園

☆予言者 (今村禅久 作)



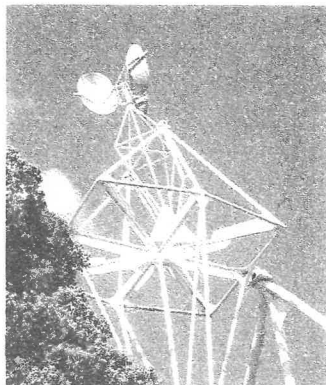
「予言者ってなんだ?」、「神の言葉を、民に知らせる・・・」、「旧約聖書では・・・」、凡人には「???」でした。

## 2. 千里北公園

★風の道

(新宮晋 作)

公園東の尾根に、風に向かって揺らんでいます。



★天の子 (山脇正邦 作)



後姿を眺めて「これはなんだ?」。前からは、茂みに遮られて見えない。望遠レンズでやっと「天の子」の顔が。

○銀の鳥 (時計塔)

92年吹田千里ライオンズ  
倶楽部寄贈

(下 左から)

☆翠 (みどり 安田周三郎 作)

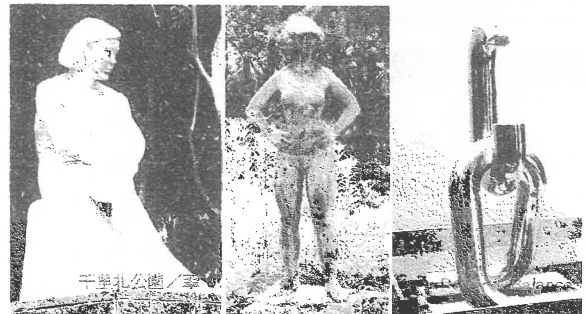
○行 (木内 岬 作)

北千里体育館の裏庭

○Power & Balance

(原田 明 作)

北千里体育館入口前



## 3. 青山公園

(左から)

★壁訴訟

(工藤 健 作)

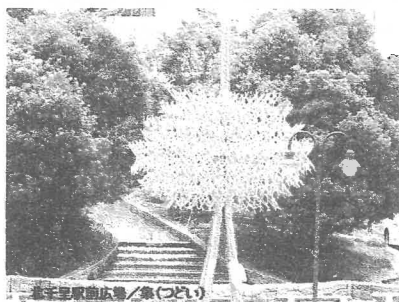
★石花

(日高頼子 作)



台座が壊されていて作品の名前も解かり難くなっています。作品そのものに首を傾げる一同。

## 4. 北千里駅前広場 ★集(つどい) 植木茂 作



「うん、集っている。」と納得。下に水が流れていて、気持ちいい場所でした。



## 散策会のご案内



### 南吹田地区探訪～JR新駅・貨物専用道出口周辺を訪ねて～

- ・日時：9月7日(日)9:30～12:00(小雨決行)7月20日開催予定だったものです。
- ・集合：阪急吹田駅梅田側改札前 9:30 解散：同駅周辺 12:00
- ・コース：JR線路に沿って南吹田3丁目～2丁目・1丁目～南清和園～川岸町～中之島公園・勤労青少年ホーム・寿町児童センターなどを探訪
- ・参加費：無料 申込先：大越(TEL 090-7768-5423)定員25名

### まちなみ研修会 現地ボランティアとの交流も予定 まちなみ委員以外も歓迎! 茨木市の「椿の本陣」見学とまちなみ散策

- ・日時：10月4日(土)9:45～15:30(雨天決行)
- ・集合：JR茨木駅北側バス1番乗り場(解散：阪急総持寺駅)
- ・コース：西国街道の「椿の本陣」と市内中心部のまちなみ、「川端康成文学館」など見学。
- ・申込・問合せ先：岡村昇二(TEL/FAX 06-6871-5216)9月27日(土)までに 定員20名。
- ・費用：交通費(JR茨木⇄椿の本陣バス代)、昼食代(1200円程度)、文学館入館料200円

### 阪急吹田・片山坂・南佐井寺界隈の彫刻探訪

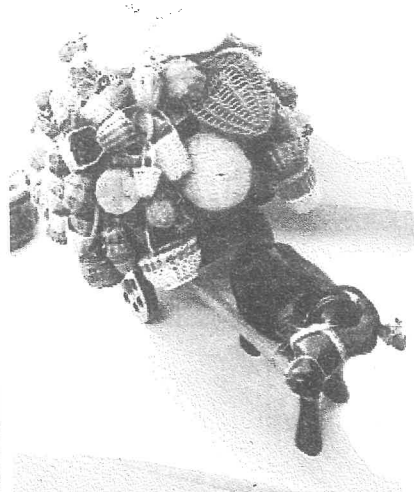
- ・11月1日(土)に予定しています。現代美術を愉しもう塾と共催、詳細は次号でお知らせします。

### 吹田市立博物館 夏季展示「千里の竹」開催中

千里ニュータウン展、万博展で、全国から注目された市立博物館、今夏の展示「千里の竹」も注目されます。世界の竹細工も見れます。

千里の竹グループ、千里竹の会、すいた環境学習協会、竹林友の会が竹林散策会やイベントで協力しています。当会は参加していませんがお勧めです。写真左の竹細工は必見です。8月31日(日)まで。

ブログ参照 <http://www.doblog.com/weblog/myblog/60028>



マニラのかご売りのミニチュア



トンネルアートパート3も始まりました。今年も子どもゆめ基金の助成を受けて、現代美術を愉しもう塾が子どもたち、父母、若いアーティストと世代を越えたコラボレーションで、残った壁面に挑んでいます。

まちなみ委員 松岡要三

### 吹田操車場跡地まちづくりアイデアコンペ その後

当会も応募したアイデアコンペ、主催者の想定を大きく上回る182件の応募がありました。提案のレベルが高く、内容も実にバラエティに富んでいて、まちづくりに深い想いが込められています。吹田操跡地だけでなくニュータウン再生、千里山駅周辺まちづくり、南吹田まちづくりにも考えるヒントを与えてくれるものです。市役所情報公開室でコンペのパネル182点のカラーコピーが閲覧できます。

吹田市の目指す環境モデル都市、安全・安心のまちづくり、賑わいのあるまち、それらを実現させるヒントの宝箱です。是非皆様も一度じっくり閲覧してください。入選に関係なく素晴らしいものが沢山あります。なお、当会有志の提案は落選しました。

まちなみ委員 松岡要三